

みずほCustomer Desk Report 2017/08/18号(As of 2017/08/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	110.01
TKY 9:00AM	110.00	1.1774	129.50	0.9651	1.2888	0.7932
SYD-NY High	110.38	1.1790	129.66	0.9698	1.2913	0.7962
SYD-NY Low	109.45	1.1662	128.39	0.9606	1.2853	0.7880
NY 5:00 PM	109.58	1.1723	128.45	0.9627	1.2866	0.7885
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.145/8.545		△25RR	0.975	Yen Call Over	
NY DOW	21,750.73	▲274.14	債券市場			
NASDAQ	6,221.92	▲123.19	日本2年債	-0.1050	0.7bp	
S&P	2,430.01	▲38.10	日本10年債	0.0540	1.2bp	
日経平均	19,702.63	▲26.65	米国2年債	1.2956	▲3.1bp	
TOPIX	1,614.82	▲1.18	米国5年債	1.7492	▲3.1bp	
シカゴ日経先物	19,485.00	▲230.00	米国10年債	2.1853	▲3.7bp	
ロンドンFT	7,387.87	▲45.16	独10年債	0.4260	▲1.9bp	
DAX	12,203.46	▲60.40	英10年債	1.0870	▲1.8bp	
ハンセン指数	27,344.22	▲64.85	豪10年債	2.6420	▲2.1bp	
上海総合	3,268.43	21.98	為替市況			
USDJPY 3M Vol	9.02	0.11%	USD/CNH	6.6842	▲0.0041	
USDJPY 6M Vol	9.18	0.07%	ドルインデックス	93.62	0.08	
EURJPY 3M Vol	9.02	▲0.02%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	9.34	▲0.08%	CRB指数	175.886	0.53	
			NY金	1,292.40	9.50	
			WTI	47.09	0.31	
			Dubai Spot	50.36	0.61	

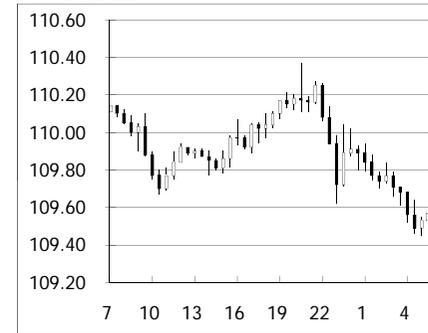
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月17日	08:50	日 貿易収支	7月 ¥418.8B	¥327.1B
	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	7月 27.9K/5.6%	20.0K/5.6%
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.3%	0.2%/1.4%
	17:30	英 小売売上高・除自動車燃料(前月比/前年比)	7月 0.5%/1.5%	0.1%/1.2%
	18:00	欧 消費者物価指数(前月比/前年比)	7月 -0.5%/1.3%	-0.5%/1.3%
	20:30	欧 ECB理事会議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	232K 240K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	8月 18.9	18.0
	21:51	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.2%	0.3%

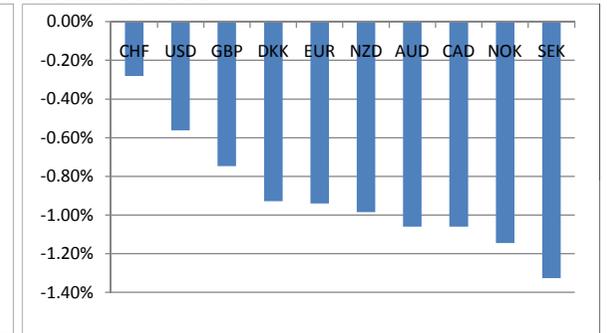
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月18日	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/2.2%	0.0%/2.4%
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/1.2%	-0.1%/1.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	8月 94.0	93.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	<p>朝方発表された本邦7月貿易収支は4,188億円の黒字となり市場予想を上回る結果となるも、市場の反応は限定的となった。東京時間のドル円は110.00レベルでオープン。仲値にかけてはドル買いが強まり一時110.10まで上昇。しかし、上値の重い日経平均株価や、前日海外時間にトランプ米大統領が政策助言組織2つを解散したこと、トランプと受け止められたFOMC議事要旨等が引き続き意識されドル売りが強まり一時109.67まで下落。その後は目立った材料ない中、109円台後半での方向感に乏しい推移が続き、109.87レベルで海外へ渡った。(東京15:30)</p>
ロンドン	<p>ロンドン市場のドル円は109.87レベルでオープン。前日公表されたFOMC議事要旨の内容を受けたドル売りが一服すると、次第に買い戻される展開となり110円台を回復。ECB議事要旨においてユーロ高への警戒が示されたことを受けて対ユーロでドル買いが強まるとドル円は一時110.38まで上昇。110.16レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2893レベルでオープン。EU離脱交渉に関する測度が錯綜する中、不透明感を嫌気し軟調に推移。英7月小売売上高(除自動車燃料)が、前年比+1.5%上昇し、市場予想(+1.2%)を上回ったことで下げ渋る場面もあったが、買いは限定的だった。日足の一目均衡表雲下限(1.2851)が控える水準である1.2853まで下落した後、小幅に戻し1.2867レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1773レベルでオープン。独第2四半期就業率数が東西ドイツ統一後の最高水準に増加し、仏第2四半期失業率も9.5%と5年ぶりの水準に低下。さらにユーロ圏6月貿易黒字は266億ユーロと市場予想(229億ユーロ)を上回り、ユーロ圏7月消費者物価指数改定値は前年比+1.3%と市場予想通りの結果となる等、欧州経済指標は概ね好調であったにも関わらず、ユーロは軟調に推移。複数の関係筋がジャクソンホールでECB総裁が金融政策に関する新たなメッセージは打ち出すことはないと言ったことが、引き続き重石となる中、ECB議事要旨でユーロ高への警戒感が示されたことから1.1662まで下落し、1.1700レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)</p>
ニューヨーク	<p>NY時間のドル円は110.17レベルでオープン。朝方は米8月フィラデルフィア連銀景況指数が市場予想を上回り、内訳でも新規受注が大きく改善したことから110.27まで戻すものの、米7月鉱工業生産が予想を下回ったことに加え、米国家経済会議(NEC)の委員長の辞任などのヘッドラインが伝わり、109.63まで下落する。しかし、このヘッドラインは誤報と伝わったことから110.05まで戻す。午後に入りバルセロナでテロが起こり13人が死亡したとのニュースヘッドラインが流れると、軟調な株式市場が下げ幅を拡大させる展開に、ドル円は109.45まで下押しし、109.58レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1700レベルでNYオープン。朝方は米8月フィラデルフィア連銀景況指数結果を受け、1.1682まで下押ししたものの、米7月鉱工業生産の結果や、委員長辞任との報道を受け、1.1748まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1723レベルでクロスした。(NY井上)</p>

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-109.80	1.1680-1.1760	127.50-128.80

【マーケット・インプレッション】

昨日バルセロナにおけるテロとの報道が市場のリスク回避姿勢を強めている状況。本日のドル円は上値重い推移を予想する。短期筋や本邦実需勢等が値ごろ感から、109円台半ばという水準は買いが入る可能性は否めないものの、米トランプ大統領に対する不信感を強めざるを得ない報道が続く上、各地で起きるテロ、北朝鮮情勢の不透明感等、リスクセンチメントを冷やす材料には枚挙に暇が無い状況であり、力強い反発は望み薄ではない。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。